

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育実習指導Ⅲ	演習	1	林 幹士
【授業のテーマ及び到達目標】			
<p>保育実習Ⅲに参加するために必要な事項を学ぶ。</p> <p>保育実習Ⅲの意義、目的、内容を理解する。各自目標を持って発展的な実習ができるように準備する。実習事後指導を通して、実習の反省と課題の確認を行い、今後の学習目標を明確にする。</p>			
【授業の概要】			
<p>保育実習Ⅲが円滑に実施できるよう、理論と実践の両方の側面から準備を行う。各自の課題を確認しながら、講義と演習を通して、保育力の向上をめざす。授業内容に応じて、外部講師による指導を取り入れる。</p>			
【全体の授業計画・内容】			
1. 保育実習ⅠAの振り返り			
2. 保育実習ⅠAにおける自己課題の確認			
3. 保育実習Ⅲの意義、目的、内容について			
4. 特別な支援を必要とする子どもとの関わりについて(外部講師)			
5. 特別な支援を必要とする成人との関わりについて(外部講師)			
6. 実習記録について			
7. 指導案作成(0・1・2歳児)			
8. 指導案作成(3・4・5歳児)			
9. 保育実践事例から			
10. 実習施設における事前指導について			
11. 保育士資格に関して			
12. 実習直前指導			
13. 事後指導(全体会)			
14. 保育実習Ⅲにおける自己課題の確認			
15. 就職にむけて(外部講師)			
【準備学習の内容】			
予習のあり方: 部分実習のための教材研究を行う。			
学習のあり方: 指導案や実習で用いる教材を完成させること。			
復習のあり方: 課題を確認し、不足している部分に関しては重点的に練習・学習していく。			
【成績評価】			
提出物(100%)により評価する。			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】			
提出物や保育実習Ⅲの成績評価をもとに個別面談を実施し、実習についての振り返りを行う。			
【テキスト】			
岡本 幹彦他『福祉施設実習ハンドブック』みらい			
久富 陽子他『幼稚園・保育所実習 指導計画の考え方・立て方』萌文書林			
【参考文献】			
適宜お知らせする。			